

令和5年  
長浜市議会12月定例会議会  
閉会あいさつ

令和5年12月20日

長浜市議会定例会 令和5年12月定例月議会の閉会にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本定例会におきましては、補正予算や条例改正などの諸議案に対しまして、議員の皆様には慎重かつ熱心なご審議を賜り、いずれも原案どおりご議決・ご承認を賜りましたことに、厚くお礼を申し上げます。

それでは、閉会に当たりまして諸般の報告をいたします。

本議会は、私が市長に就任してから、早いもので、もう8回目の定例月議会となりました。

世界に目を向けますと、昨年2月のロシアのウクライナ侵攻以来、問題は解決しない状況で、さらに今年の10月、ハマスによるイスラエル攻撃が行われガザ地区が戦争状態となりました。

世界情勢は依然として不安定を極めており、我が国の先行きにも少なからず影響を及ぼしております。一刻も早い情勢正常化に向けた国際社会の動きに期待をいた

します。

この一年の本市の施策では、病院再編、450周年事業など多くの施策に取り組んでまいりました。

病院再編では、9月に市立病院の経営に関する方針を示させていただいたところです。この方針を具現化するため、先の健康福祉常任委員会でもご協議申し上げました通り、(仮称)湖北圏域病院運営検討会議を立ち上げ、滋賀県長浜保健所、日本赤十字社と共に協議を進めて参りたいと思います。また、検討会議には、診療科再編を検討する部会と、経営一体化を検討する部会を設け、将来の3病院の一体化に向けての議論を深めていきたいと考えております。また、実務的にも、早期の経営統合を実現するため、日本赤十字社と協議開始確認書の締結に向けて調整を進めているところであります。議員の皆様には、まとまった段階で適宜情報共有をし、年明け、そして次年度以降の病院再編の作業を加速化させていきたいと考えております。

続いて450周年事業につきましては、去る16日に

無事グランドフィナーレを迎えました。450周年事業はフィナーレを迎えましたが、来年からは、実行委員会を発展させて、プラットフォーム化を行い、お祭りの統一的プロモーションとブランディング化を図り、シビックプライドの醸成を進めていきたいと考えます。これらを進めるためにも財源の確保が大切となってまいります。過日、観光庁で実施されています「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」で、事業者を含めて数億円にも上る本市事業が採択されました。これを機に「宿泊施設の高付加価値化」「観光施設の改修」などのハード事業と共に、周遊観光の実証実験など、ソフト事業との両面で進めて参りたいと思います。

また、南長浜地域のまちづくりでは、現在、「南長浜まちづくり共創会議」と「検討会議」を設けて幅広い意見を伺っているところです。これらの意見をもとに、まちづくりの基本コンセプトを3月までに設定し、次年度に、次の時代への、実効あるビジョンを検討してまいりたいと考えております。

その他にも各分野で改革を進めました。若者応援や北部振興、合同改革チームを作った長浜バイオ大学の取り組みなどです。

この若者応援に関連して、喜ばしいことですが、この1年は、スポーツ界で長浜出身者の活躍が目立った1年でもありました。

まず、高月中学校の卒業生で、ウェイトリフティングに取り組まれている<sup>つつみまお</sup>堤 茉央選手が、11月に開催された、世界ジュニア選手権で3位に入賞されました。

続いて、同じく高月中学校の卒業生の<sup>ゆうご</sup>前田悠伍選手が、ドラフト1位でプロ野球チームに入団することが決まりました。前田選手は、中学1年生の時には、<sup>ゆう</sup>U12世界少年野球選手権の日本代表に選出され、見事優勝されました。また、高校3年生の時には、<sup>ゆう</sup>U18ワールドカップの日本代表に選出され、決勝戦で完投勝利をし、優勝に貢献されました。

両選手とも、今月、市役所に表敬訪問に来ていただきました。お二人とも<sup>はっらっ</sup>澆漑とした、元気あふれるアスリー

トでした。将来、オリンピックでの活躍が期待される  
ころです。

また、一方で、ベテランの選手でも、本市高月町在住  
の片桐清司かたぎりきよしさんが、今年1月に開催されたベテランズ国  
際柔道選手権で銅メダルに輝かれました。世界マスター  
ズ大会でも活躍されたベテラン選手ですが、大きな病氣  
を乗り越えての偉業達成は、多くの人に希望を与えたこ  
とと思います。

このように、長浜に縁ゆかりのある方々、特に若者が、世界  
で活躍する姿は、これからの時代を担う、次の世代の子  
ども達への夢と希望を与える存在であり、また、長浜の  
市民力の根幹をなす「シビックプライド」の醸成にも大  
きな役割を果たしていただいています。

また、身近なところでは、駅まちテラス内にオープン  
しております、サードプレイスについては、当初、期間  
限定での開設予定でしたが、高校生たちからの、継続要  
望の声が集まり、当初の期間終了後も、継続して運営す  
ることとなりました。これも若者の力が、市政を動かし

た案件であり、大変喜ばしく感じております。

これらの皆さんの活躍に負けないよう、長浜市政も大きく飛躍を目指したいと思っております。

他方、本市を取り巻く財政状況については依然厳しい状況であります。国からの財源の1つである特別交付税は、災害の少ない団体については当然ながら減少となります。今年は災害に遭った団体が多いことから、それらの団体に多く配分されることが予測されます。災害が少ないことは大変ありがたいことですが、今後、特別交付税の算定基礎になる特殊事情については、整理のうえ、国にしっかりと伝えてまいります。

また、市町合併により、機能が重複した公共施設が多く残されております。既に合併から14年が経過しようとしておりますが、これから本格的な見直しの必要があると考えます。今後、さらなる人口減少を見据えたうえで、適正な規模への統廃合を進めていく必要があります。

その来年度予算を編成していく過程で、各部局長がそれぞれの組織のマネジメントを名実ともに行うように

制度設計を作り上げ、人事評価につなげていきたいと考えております。

最後に、今年も残すところあと11日となりました。議員の皆様におかれましては、本市の行く先を共に考え、様々な場面で多大なるご尽力を賜りましたことに対し、改めて敬意を表するものでございます。

ご健勝にて輝かしい新年をお迎えくださいますよう、また、令和6年が長浜市にとりまして、ますますの発展につながり、明るい年になりますよう、心からご祈念を申しあげまして、お礼のご挨拶といたします。

本年、誠にありがとうございました。